

令和 3 年における宇都宮市の交通事故発生状況について

[事故統計関係資料提供 栃木県警察本部]

本市の交通事故発生状況について、第 11 次宇都宮市交通安全計画の重点視点到位置付けた「子どもや高校生」「高齢者」「自転車利用者」に関するデータを中心に掲載する。

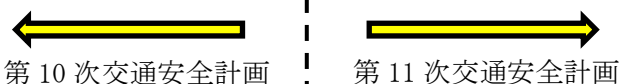
1 宇都宮市の交通事故発生件数、死者数、重傷者数の推移

本市の交通事故発生件数、重傷者数は減少傾向にあり、令和 3 年は、発生件数 1,281 件、重傷者数 106 人となったが、死者数は 12 人と横ばいの状態が続いている。

① 過去 5 年間の推移と第 11 次宇都宮市交通安全計画（R3～7）の目標値

	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	目標値
発生件数	1,548 件 (▲190 件)	1,497 件 (▲51 件)	1,474 件 (▲23 件)	1,368 件 (▲106 件)	1,281 件 (▲87 件)	1,040 件 以下
死者数	8 人 (▲2 人)	12 人 (4 人)	11 人 (▲1 人)	13 人 (2 人)	12 人 (▲1 人)	8 人 以下
重傷者数	122 人 (▲33 人)	151 人 (▲29 人)	134 人 (▲69 人)	131 人 (▲3 人)	106 人 (▲25 人)	90 人 以下

注) 下段()は対前年増減数

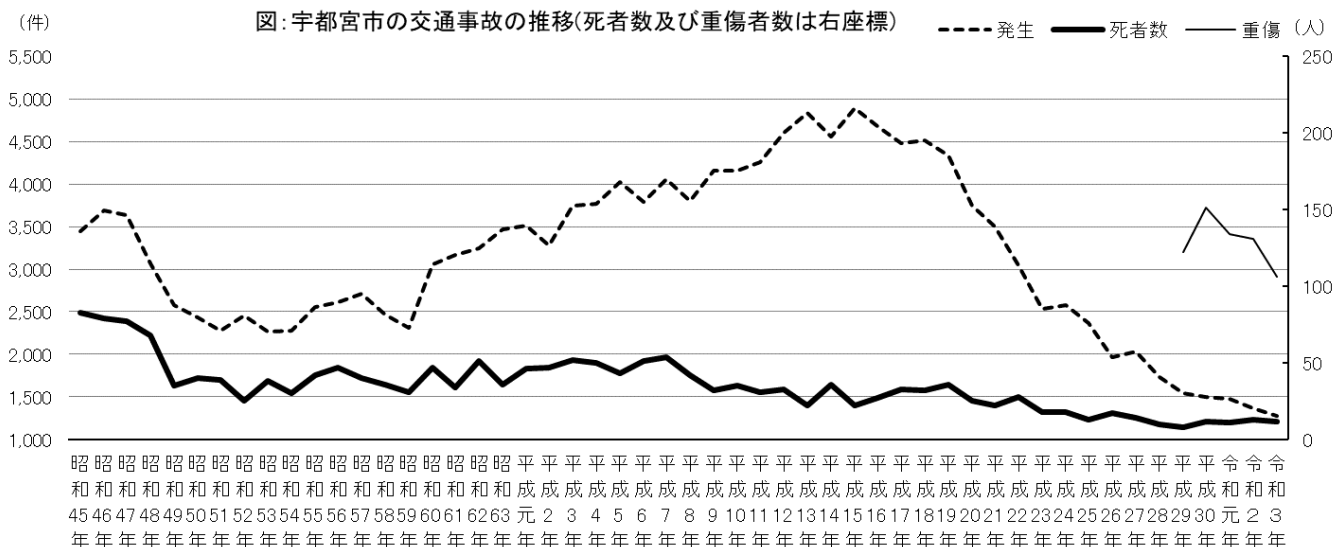


ア 発生件数 1,281 件（過去最小値）、過去最多 4,887 件（H15）の約 4 分の 1

イ 死者数 12 人、過去最多 83 人（S45）の約 7 分の 1

ウ 重傷者数 106 人（H29 以降最小値）

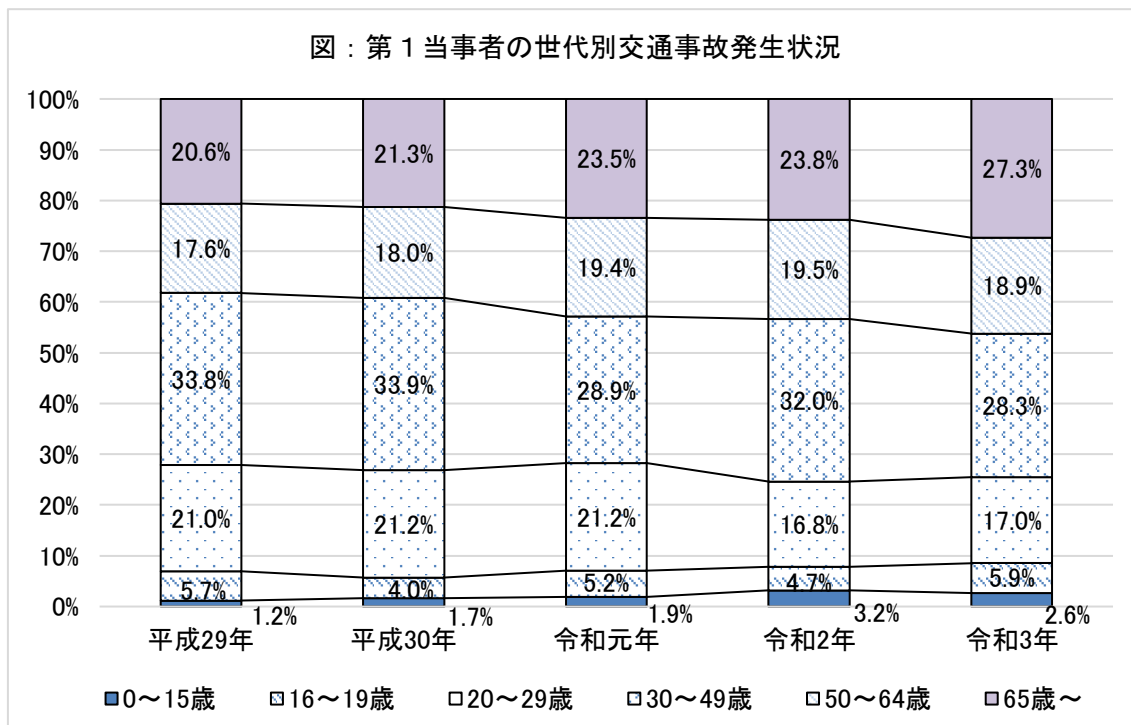
② 宇都宮市の交通事故の推移



※ 重傷者数は第 11 次計画から目標値に設定されたことから、重傷者数は直近 5 箇年のデータのみの掲載

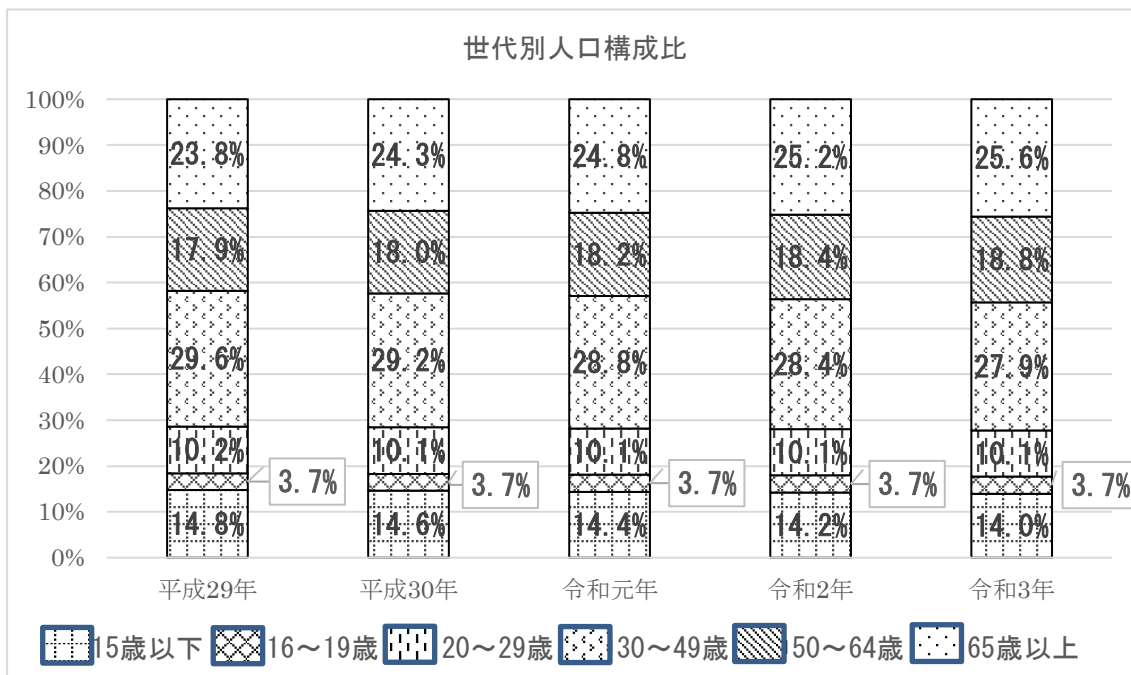
2 世代別交通事故発生状況

第1当事者の世代別の割合では、高齢者（65歳以上）の占める割合が増加傾向となっている。



※ 第1当事者・・・交通事故に関与した者のうち、過失が最も重い者をいい、過失同等の場合は被害がより軽い者をいう。

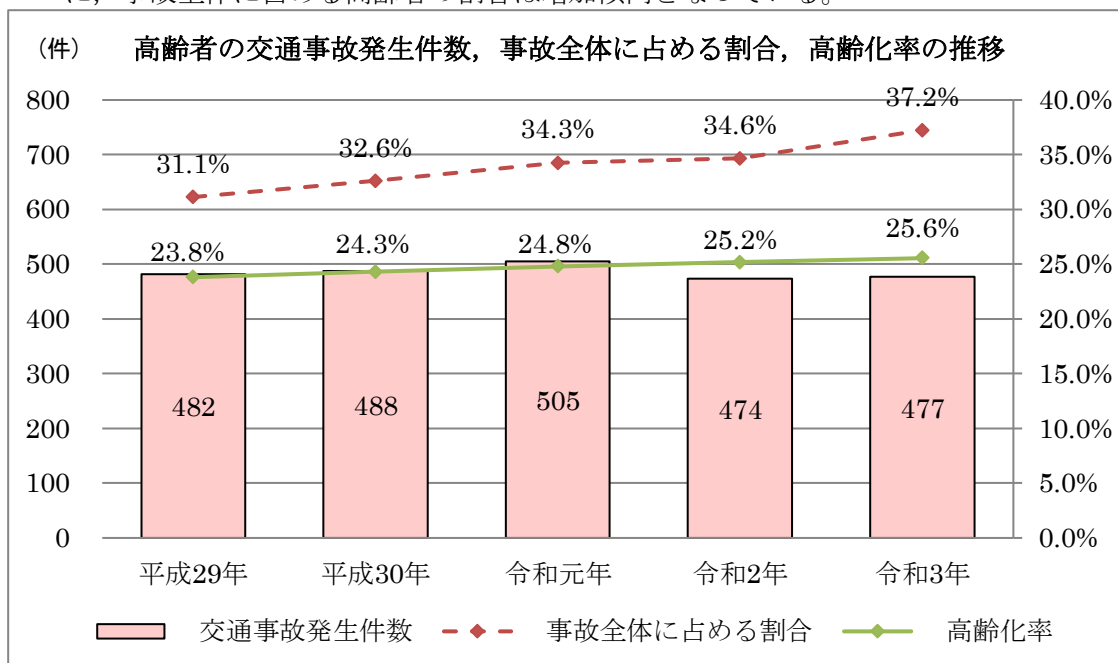
(参考) 世代別人口構成比 ※各年3月末時点



3 高齢者の交通事故発生状況

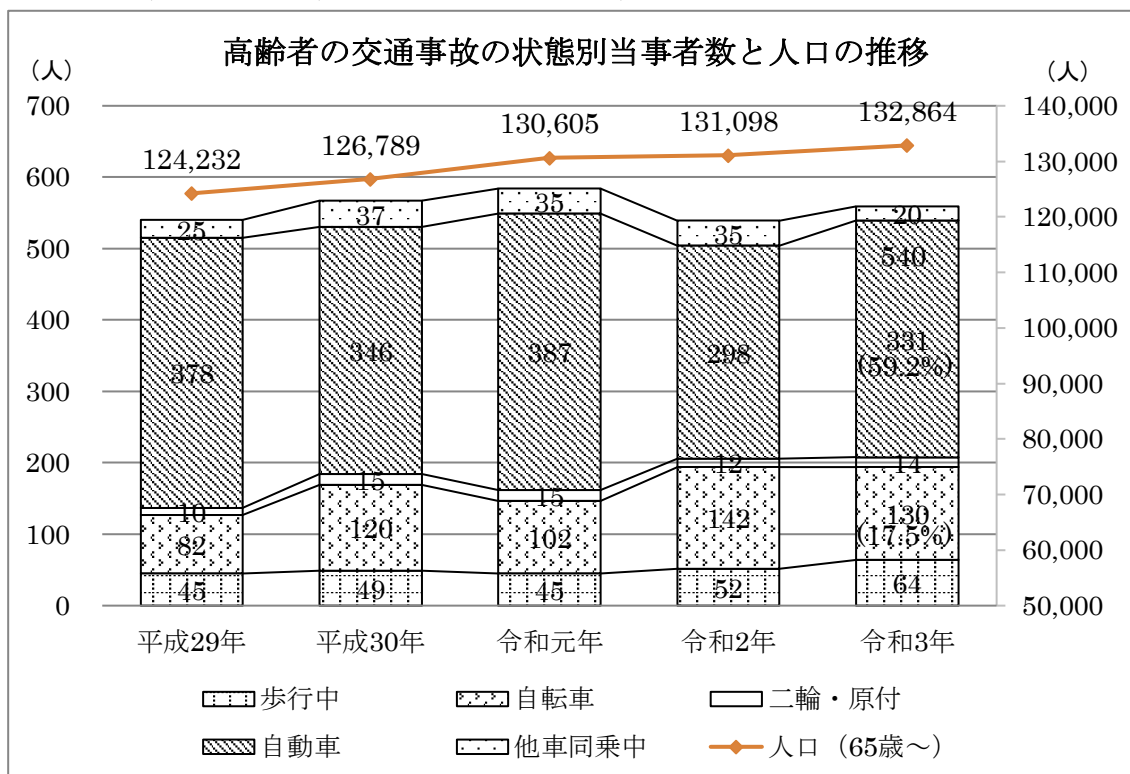
① 高齢者の交通事故発生件数の推移

交通事故発生件数は、平成29年から横ばいとなっているが、高齢化率の上昇とともに、事故全体に占める高齢者の割合は増加傾向となっている。



② 高齢者の交通事故の状態別当事者数と人口の推移

人口は増加しているが、当事者数は令和2年に一時減少したものの、総じて増加傾向にあり、状態別では、自動車乗車中が59.2%、自転車乗車中が17.5%を占めている。

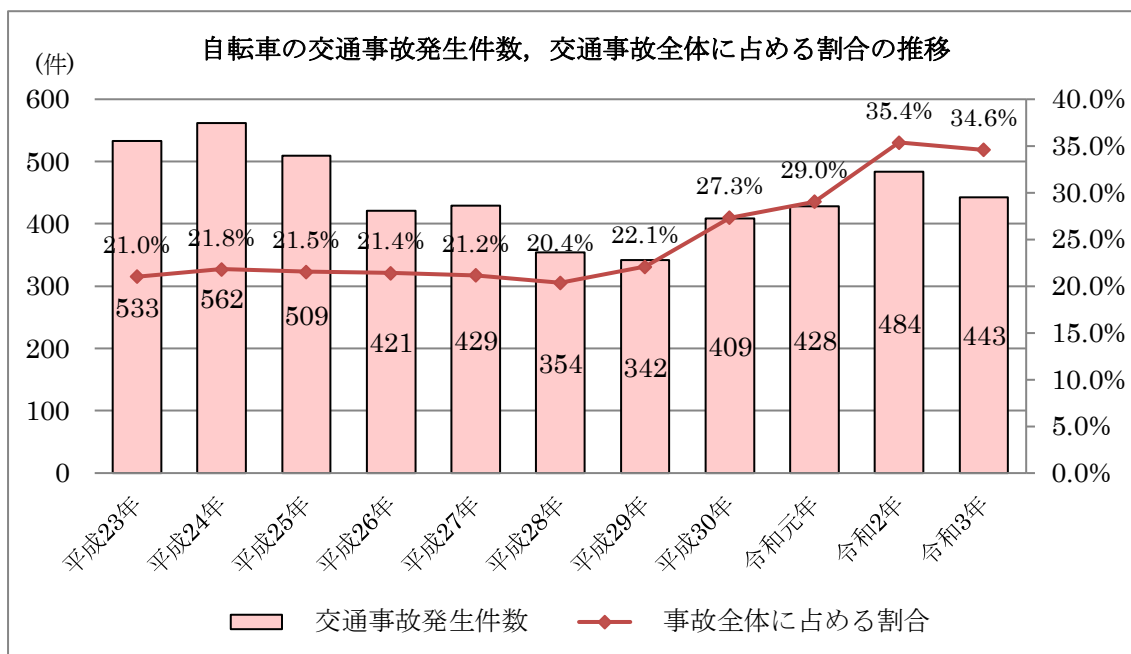


※ ①は発生件数、②は当事者数のため、数値は一致しない

4 自転車の交通事故発生状況

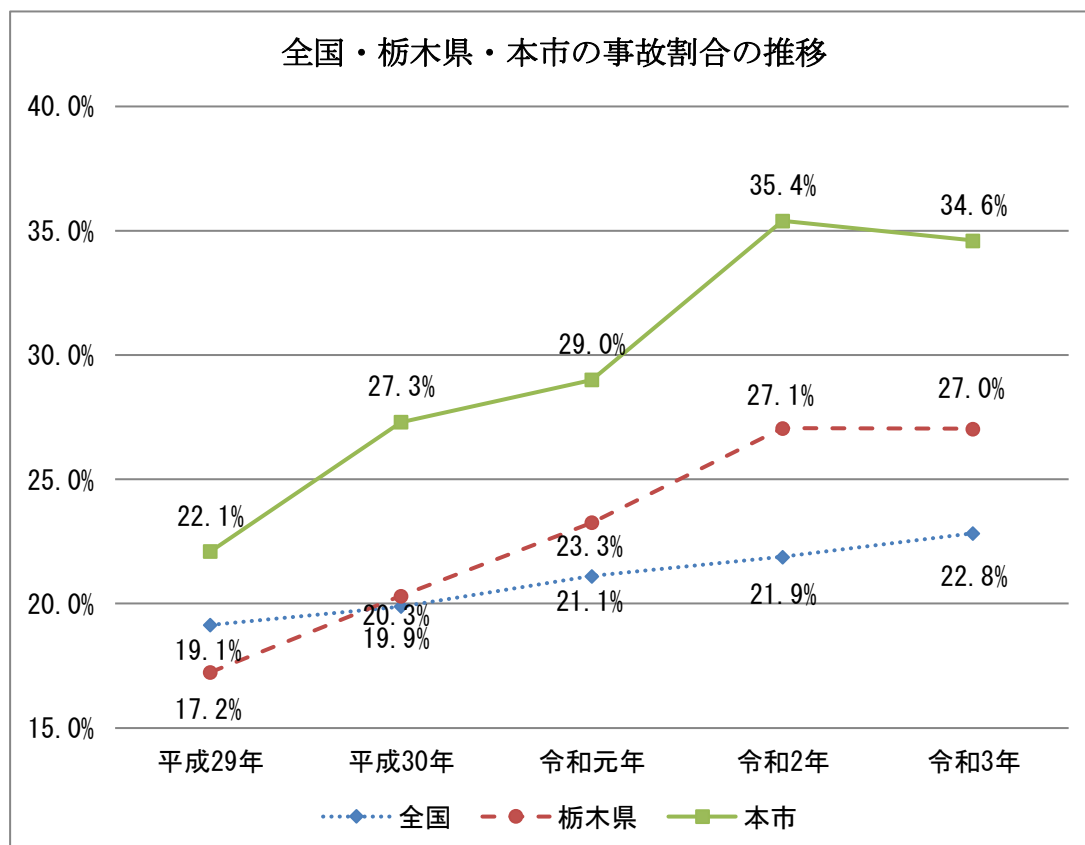
① 自転車の交通事故発生件数の推移

自転車の交通事故発生件数は、平成30年以降横ばい傾向にあるが、事故全体に占める割合は増加傾向にある。



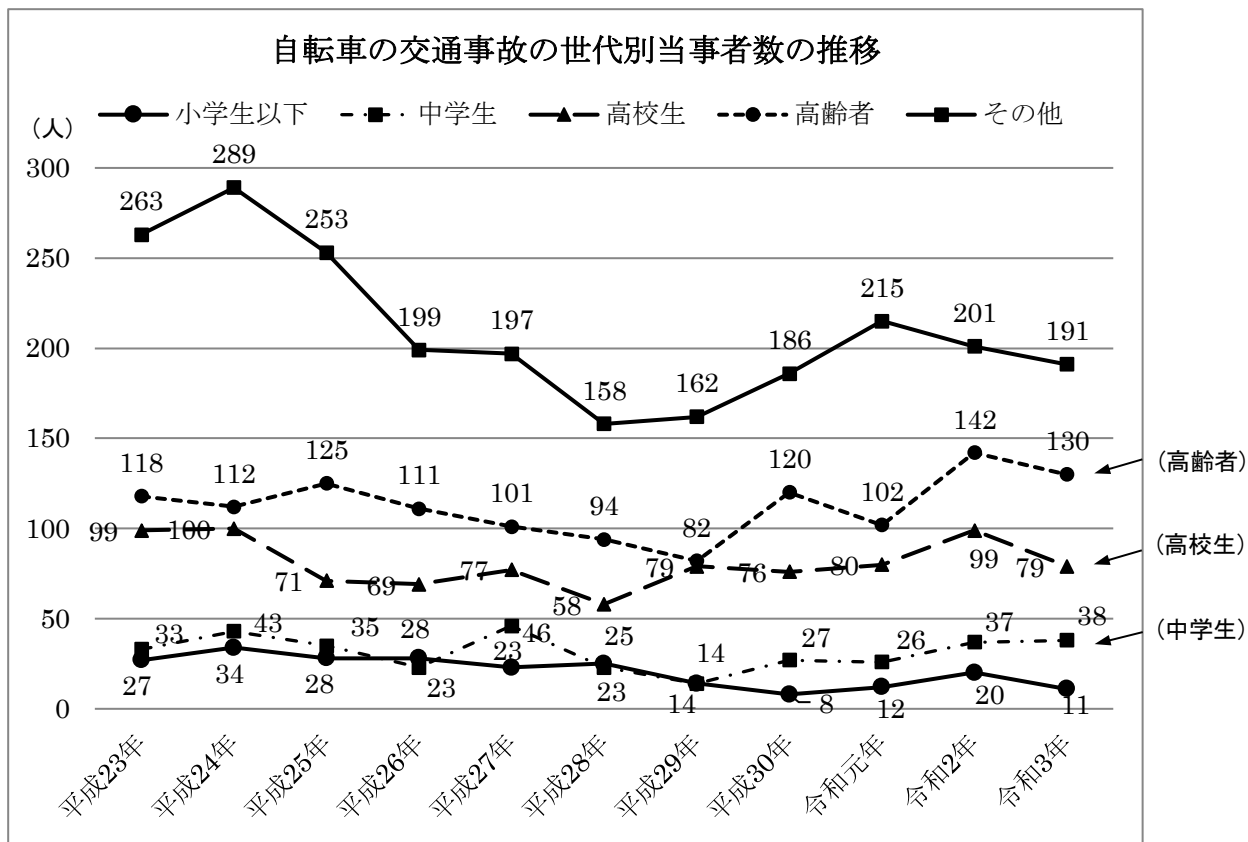
② 自転車の交通事故の事故全体に占める割合の推移（国・県との比較）

本市の自転車の交通事故が、交通事故全体に占める割合は、国、県の割合に比べて高く、割合はそれぞれ増加傾向にある。



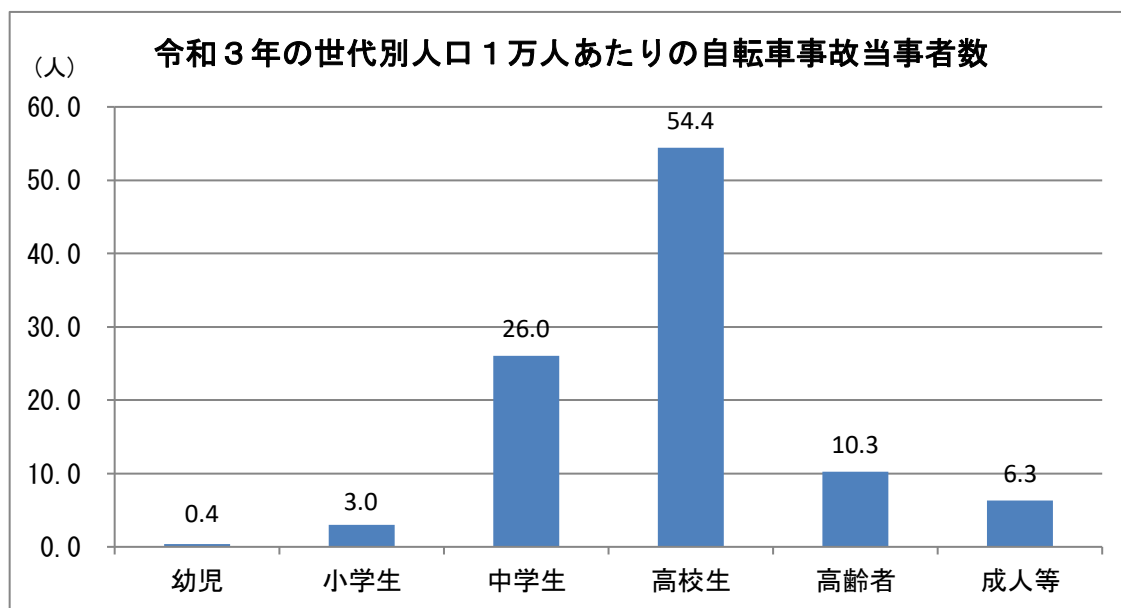
③ 自転車の交通事故の世代別当事者数の推移

自転車の交通事故当事者数は、高齢者が増加傾向にある。



④ 令和3年の世代別人口1万人あたりの自転車事故当事者数

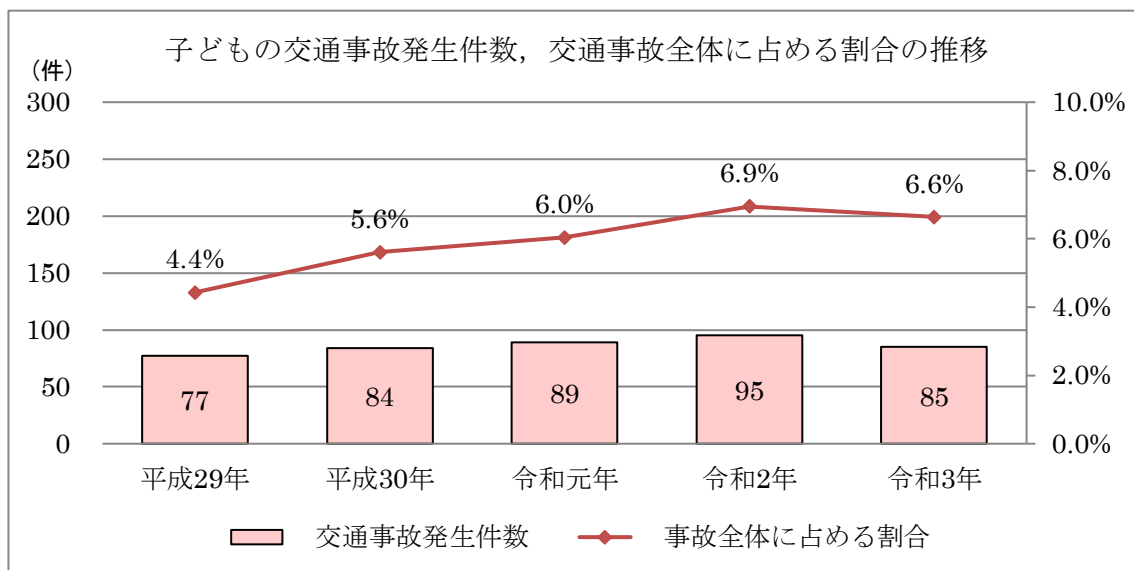
世代別人口1万人あたりの自転車事故当事者数を比較すると、高校生が突出して多く、次いで中学生となっている。



5 子どもの交通事故発生状況

① 子どもの交通事故発生件数の推移

子どもの交通事故発生件数は横ばいで推移し、交通事故全体に占める割合は増加傾向にある。

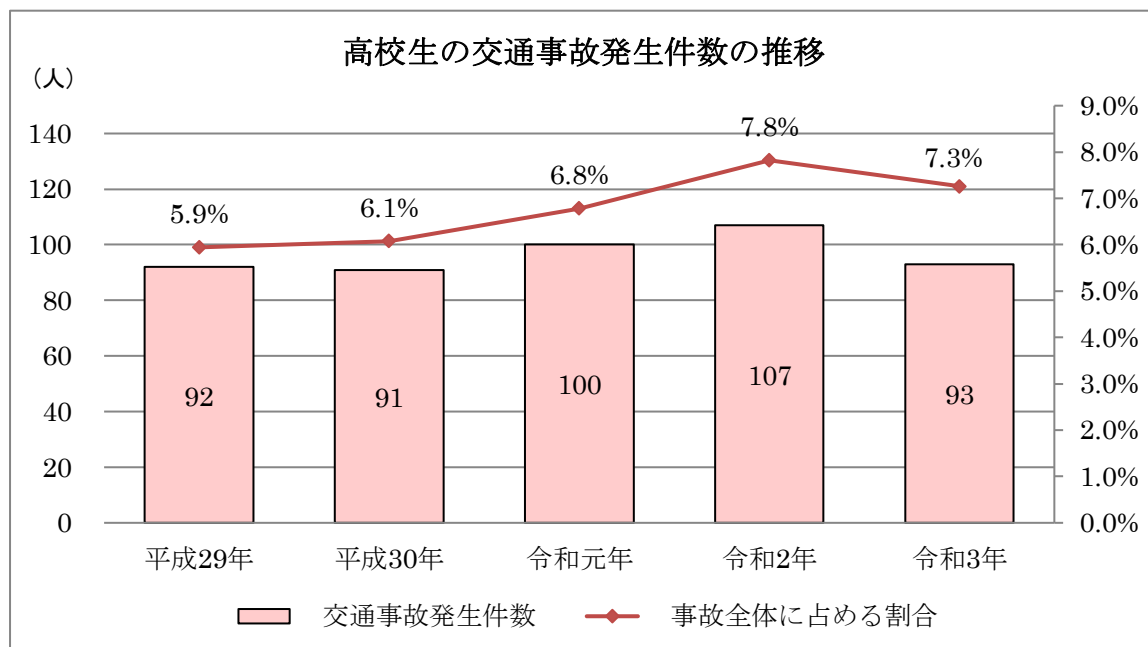


※ 子ども・・・中学生以下の者をいう。

6 高校生の交通事故発生状況

① 高校生の交通事故発生件数の推移

高校生の交通事故発生件数は、令和2年に一時増加したものの令和3年は減少した。事故全体に占める割合は増加傾向にある。



② 高校生の交通事故の状態別当事者数と人口の推移

高校生の交通事故の当事者数は令和2年より減少している。状態別では、自転車乗車中が85.0%を占めている。

